

会計別予算額		
会計名	令和2年度予算額	前年度比
一般会計	121 億 3,056 万円	△ 2.9%
特別会計	69 億 6,087 万円	△ 2.1%
国民健康保険事業	29 億 1,502 万円	△ 4.7%
後期高齢者医療事業	8 億 3,966 万円	1.9%
介護保険事業	31 億 8,896 万円	1.5%
工業団地造成事業	1,723 万円	△ 79.8%
企業会計	35 億 320 万円	△ 7.3%
水道事業	6 億 7,942 万円	△ 0.8%
下水道事業	28 億 2,378 万円	△ 8.7%
総合計	225 億 9,463 万円	△ 3.4%

用語解説

一般会計……市税収入を主な財源として、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計です。

特別会計……特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計です。

企業会計……民間企業と同じように、事業によって得た収入で支出をまかなう独立採算を原則とする事業について設けられた会計です。

市 税……市民の皆さんや法人が市に納める税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税を総称したものです。

国・県支出金……いろいろな事業に対する国・県からの補助金、交付金などです。

地方交付税……全国の市町村が等しく事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。

繰入金……各基金から一般会計に繰り入れるお金です。

地方譲与税等……国税として徴収された特定の税収を、一定の基準により市町村に譲与される税金や各種交付金などです。

民生費……児童、高齢者、障がい者の福祉や生活保護に使われます。

総務費……市の全般的な管理、企画や選挙、戸籍・住民票事務などに使われます。

土木費……道路、公園、市営住宅などの建設や管理に使われます。

教育費……小・中学校、公民館の運営や、文化・スポーツの振興などに使われます。

公債費……借り入れた市債の元金・利子などの償還に使われます。

衛生費……ごみ処理や環境保全、市民の健康増進などに使われます。

商工費……商業や工業、観光の振興などに使われます。

消防費……消防、救急活動などに使われます。

農林水産業費……農業や林業、水産業の振興などに使われます。

扶助費……社会福祉制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などの支援に必要な経費です。

人件費……職員の給与や議員への報酬などの経費です。

補助費等……負担金、補助金などの経費です。

物件費……委託料、光熱水費、消耗品費などの経費です。

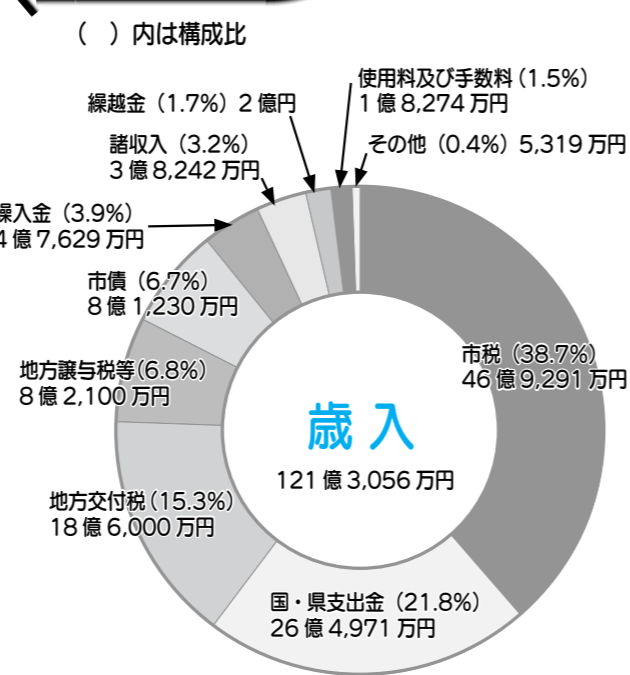
繰出金……一般会計から特別会計へ繰り出される負担金などの経費です。

普通建設事業費……道路や公園、学校など公共施設を整備するための経費です。

一般会計

121 億 3,056 万円

歳入



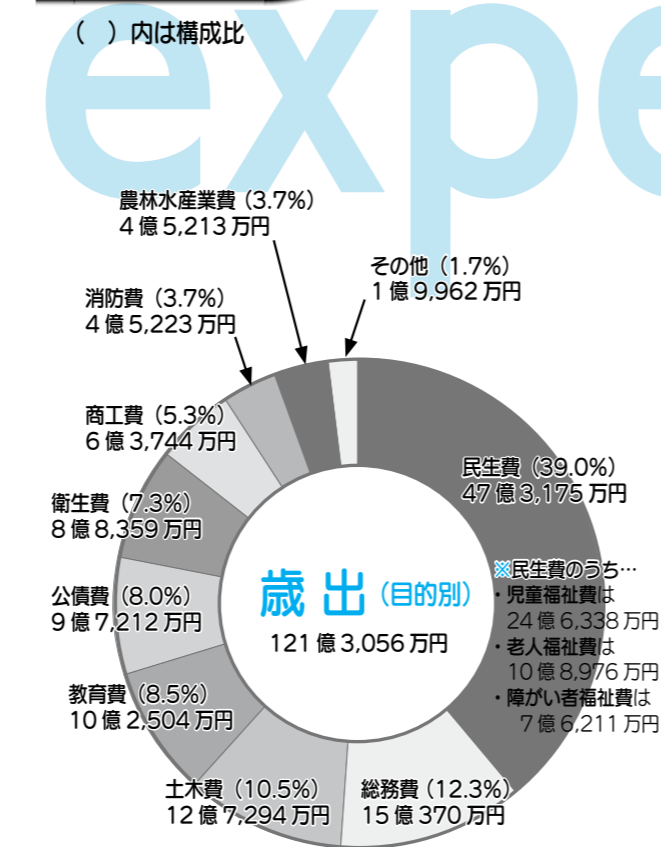
■歳入の特徴

個人市民税は前年度とほぼ同水準となるものの、法人市民税は法人税割の税率の改正に伴い、前年度比 40.1% 減、固定資産税については、市内における住宅着工が堅調なことから、前年度比 1.1% 増と見込み、市税全体では前年度比 3.8% 減としました。

一方、地方交付税については、法人市民税の減少分や会計年度任用職員制度への対応などを考慮し前年度比 12.7% 増とするほか、財政調整基金の取り崩しなどにより財源の確保に努めました。



歳出



■歳出の特徴

まちづくりの将来像、**ひと・まち・産業が元気なまち 滑川**を基本とし、市民生活の向上や社会基盤の整備、産業の振興、教育文化の向上等を図る施策に取り組みます。

まず、子ども子育て支援施策では、0～2歳の第2子以降の保育料について市単独での無料化を継続するとともに、義務教育終了までの医療費無償化に加え、新たに高校生等医療費無償化を実施します。また、食育の継続推進に加え、生活習慣病予防やがん検診の強化を含めた健康増進事業の推進、市民体育祭の開催を通じた健康づくりなど、全ての市民が充実した生活を送れるよう**健康寿命延伸都市**の達成に向けた各種施策を推し進めます。

国際交流では、3年ぶりとなる中学生と一般の方を対象とする米国イリノイ州の姉妹都市シャンバーグへの訪問事業を実施するほか、観光面では2隻体制でのほたるいか海上観光をはじめ、台湾美食展への出展や台湾旅行事業者等を招いた市内視察ツアーなど台湾からの観光客誘致を図り、国内外に滑川ブランドの定着を図ります。

さらに、快適な市民生活の実現に向け、昨年に引き続き、市民要望を第一優先に道路改良などを行うこととしたほか、安全・安心なまちづくり基盤を形成するため、あいの風とやま鉄道滑川駅へのエレベーター設置に向けた詳細設計に対する助成や防災行政無線のデジタル化、富山県総合防災訓練、災害対応消防ポンプ車の更新などを実施することとしています。

『ひと・まち・産業が元気なまち滑川』の推進に向けて
令和2年度予算

令和2年度の一般会計予算額は121億305.6万円で、前年度比2.9% (3億625.4万円) 減、国民健康保険事業や水道事業などの特別・企業会計予算の総額は104億640.7万円で、前年度比3.9% (4億221.9万円) 減となりました。また、一般会計、特別・企業会計を合わせた予算総額は225億946.3万円で、前年度比3.4% (7億847.3万円) 減となっています。令和2年度予算は**子ども子育て支援施策**のさらなる充実、**健康寿命延伸都市**に向けた各種施策の推進、市民要望を第一優先に道路改良などの積極的な整備や**安全・安心なまちづくり**の基盤形成など、愛市購買を基本とし市民福祉の向上と伸展のため、財源の重点的・効率的な配分に徹した予算として編成しました。

主な事業

令和2年度予算で実際にどのような事業を行うのか、新たな取り組みを中心に紹介します。
☆は新規・拡充事業

「ひと」が元氣なまちづくり

①☆保育所等施設整備補助金

5221万円
市内保育所等の施設整備に必要な経費の一部を助成します。



②第2子の保育料等完全無料化

8092万円
子育て世帯の経済的負担を軽減するため、国の保育料等無償化の対象とならない3歳未満の第2子の保育料について、市単独での無料化を継続します。（所得制限なし）

③子ども・妊産婦医療給付

1億2428万円
妊産婦および中学校修了前までの子どもの入院・通院医療費を無料にします。（所得制限なし）

⑥医療対策事業

401万円
在宅の障がい者などを対象に、入浴や理容・美容にも利用できる福祉利用券を給付するほか、障がい者の生活行動範囲の拡大・社会参加促進を図るため、障がいの程度に応じてタクシーまたはコミュニティバスの乗車券を給付します。



④☆高校生等医療給付

1729万円
高校生などを持つ世代の支援を充実させるため、4月から高校生等の入院・通院医療費を無料にします。（所得制限なし）

⑤障がい者福祉利用券などの給付

401万円
在宅の障がい者などを対象に、入浴や理容・美容にも利用できる福祉利用券を給付するほか、障がい者の生活行動範囲の拡大・社会参加促進を図るため、障がいの程度に応じてタクシーまたはコミュニティバスの乗車券を給付します。

⑧☆児童館アウトドア広場イベントの開催

100万円
アウトドア広場（にこにこ元気広場、蛸の小径）の完成に伴い、野外活動や自然体験のイベントを開催します。



⑨☆行田公園整備事業

600万円
行田公園と児童館の一体的な運用に際し、アウトドア広場内にトイレを設置します。

⑦健康増進事業

8689万円
市民の健康増進を図るため、健康手帳の配布や健康教育、各種健康診断などを実施します。また、50歳から5歳刻みに75歳までの全市民を対象に、胃、肺、大腸がん検診の無料クーポン券を配布し、受診率の向上を図ることで、健康寿命延伸のまちづくりを目指します。

⑩☆海外派遣事業

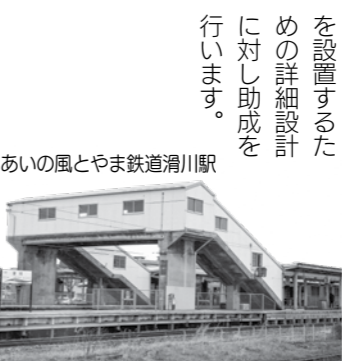
1733万円
米国イリノイ州の姉妹都市シャンバークに中学生と市内の経済団体の会員等を派遣し、人的交流や文化・経済の分野における交流の深化を図ります。



「まち」が元氣なまちづくり

⑫☆地域公共交通施設整備事業

1627万円
富山県総合防災訓練の実施や、避難所での間仕切り、段ボールベッドの整備を行います。あいの風とやま鉄道滑川駅にエレベーターを設置するための詳細設計に対し助成を行います。



⑬☆防災対策推進

187万円
富山県総合防災訓練の実施や、避難所での間仕切り、段ボールベッドの整備を行います。



⑭防災行政無線施設整備

2億4500万円
防災行政無線のデジタル化に向け、整備工事を2カ年で実施します。（継続事業の最終年度）



聖火ランナーに内定している市内2氏
高林 心温さん 川崎 令子さん

⑪☆東京2020オリンピック振興

350万円
6月4日に聖火リレーとミニセレブレーションを開催します。また、オリンピックを記念し、9地区対抗の第3回滑川市民体育祭を開催します。

⑮コミュニティバス運行

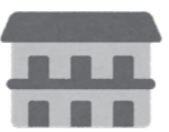
4117万円
地域間の交流促進や高齢者など市民の交通手段を確保するため、年末年始の3日間を除き毎日運行します。

⑮観光遊覧船運航事業

2284万円
観光遊覧船キラリンを運航し、富山湾岸クルージングや、2隻体制で実施するほたるいか海上観光を行います。

⑯市単独道路改良事業

1億5000万円
町内会等からの要望を受けて、改良が必要な道路の整備を行います。



⑫☆定住促進住宅維持管理

2711万円
定住促進住宅の維持管理を行います。また、サンコーポラス吾妻1号棟解体後の跡地に駐車場を整備します。

⑭☆消防施設整備事業

4213万円
古くなった消防ポンプ車を災害対応の車両に更新します。また、新しい消火栓や標識を設置します。



⑭☆消防団運営

2594万円
消防団が機動的に活動できるよう資器材等の管理と整備を行います。また、消防団員全員の活動服を更新し、消防団の充実強化を図ります。



⑭☆展覧会等開催

295万円
2020年東京五輪が開催されることに合わせ、滑川スポーツ史（仮題）として滑川ゆかりのスポーツ選手・チームなどを紹介します。このほか、堀江荘展（仮題）などの企画展を開催予定です。



1964年東京五輪のレスリング男子フリースタイル・ライト級で銅メダルを獲得した、堀内岩雄選手（改養寺出身）の着用した日本選手団ユニフォームと銅メダル＝総合体育センター

⑮☆森林整備対策事業

78万円
森林資源の適正な経営管理を行うため、森林環境譲与税を活用し、境界明確化や管理に必要な計画などを作成します。

⑮☆工業振興対策

1億2356万円
工業振興を図るため、指定地域内における工場の新増設などに対して、固定資産税相当額を助成します。また、工場の電気・水道・情報通信設備などの整備・増強費用に対し助成します。



「産業」が元氣なまちづくり

⑮☆豊かな農村づくり推進

1800万円
6次産業化の推進や、農業機械の導入助成、海洋深層水トマトなどの地域特産物の生産を推進するなど、農業の振興を図ります。



キラリグルメの森の開催風景（昨年11月）

⑮☆東福寺野自然公園管理

70万円
イノシシ侵入防止柵や一部芝生の張替え等、パークゴルフ場の維持管理を行います。

